



HHD 設定レコード用テーブルの作成

ラボ 4.1



ラボの目標

ここでは、以下の内容について学習します。

- 新しいテーブルを作成する
- ビューからリストとテーブルを設定する
- アプリケーションメニューを更新し、新しいアプリケーションモジュールを作成する

ラボの前提: 3.1 – [All] > [HHD Application] の作成

シナリオ

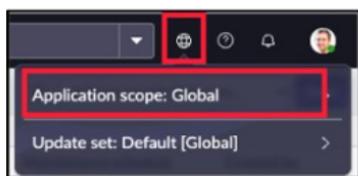
Cloud Dimensions は、パイロットテスト中および製品リリース後に流通することになる Infinity HHD デバイスの追跡手段を必要としています。各デバイスのユーザー、およびそのデバイスの設定を追跡する必要があります。

追跡対象のメインは Infinity デバイス自体のデータですが、ユーザー名やメールなどデバイスユーザーに関する情報も追跡できる必要があります。

プロダクトオーナーは、HHD アプリケーションメニューにデバイスのリスト ([HHD and Assignees]) を追加し、また、新しい HHD デバイスのレコードを作成するためのオプション ([Create New]) も追加したいと考えています。

メモ: ServiceNow でテーブルを作成する場合は、既存のテーブルを使用するのか、既存のテーブルを拡張するか、新しいテーブルを作成するのか、を考えるところから始めます。まずはデータベースを調べて、どのようなテーブルとフィールドが存在しているのかを確認して使用することが重要です。システムディクショナリには、それぞれのテーブルの詳細、およびテーブルの各列の定義が含まれています。これらの情報は、何を追加で作成する必要があるかを決める場合に役に立ちます。

1. アプリケーションスコープピッカーを使用して、アプリケーションスコープが「Global」であることを確認します。



2. [All] > [System Definition] > [Tables] に移動します。
3. リストヘッダーで [New] を選択します。

メモ: [All] > [System Definition] > [Tables & Columns] に移動して新しいテーブルを作成することもできます。



メモ: 「カスタムテーブルはスコープ対象のアプリケーションで作成することを推奨します」という旨のメッセージは、閉じてかまいません。

4. Table フォームの上部に次のように入力します。

- Label : **Holographic Handheld HHD**
- Name : **u_cmdb_ci_hardware_hhd**

メモ: ここではデフォルト値を使用しません。HHD が **cmdb_ci.hardware** テーブルから拡張されたことを名前から確認できるような値に書き替えます。これは CMDB 構造の慣例です。詳細については「ラボ 4.4 : データ構造、CMDB、CI 関係性の確認」で取り上げます。

- Extends table:**Hardware [cmdb_ci.hardware]**
- Add module to menu : **HHD**

5. 画面は次のようにになります。

* Label	Holographic Handheld HHD	Application	Global
* Name	u_cmdb_ci_hardware_hhd	Create module	<input checked="" type="checkbox"/>
Extends table	Hardware	Create mobile module	<input checked="" type="checkbox"/>
		Add module to menu	HHD

メモ: グローバルスコープのカスタムテーブルには、**u_** というプリフィックスが付いています。カスタムテーブルの名前をわかりやすい名前に変更することをお勧めします。上の例では、Holographic Handheld よりも HHD の方が入力と検索がしやすいので、**u_cmdb_ci_hardware_hhd** という名前に変更しています。

アプリケーションスコープ (Service Operations Workspace : Core など) のカスタムテーブルには `x_` というプリフィックスが付きます。

6. [Save] を選択します。
7. 下にスクロールし、[Columns] タブを選択します。`cmdb_ci_hardware` テーブルから継承されたフィールドが存在していることを確認してください。

The screenshot shows the 'Table' configuration screen for 'Holographic Handheld HHD'. At the top, there are buttons for Update, Delete, and Delete All Records. Below that, there are fields for Label ('Holographic Handheld HHD'), Name ('u_cmdb_ci_hardware_hhd'), and Extends table ('Hardware'). The 'Columns' tab is currently selected. In the main area, there is a table with columns: Column label, Type, Reference, Max length, Default value, and Display. A search bar and a pagination area showing '1 to 20 of 85' are also visible.

[Firmware version] フィールドの作成

1. [Columns] タブで、[New] をクリックします。
2. 次のように入力して新しい列 (フィールド) を作成します。
 - Type : **String**
 - Column label : **Firmware version**
 - Column name : **(デフォルトのまま確定)**
 - Max Length : **40**

The screenshot shows the 'New Column' dialog box. It has fields for Table ('Holographic Handheld HHD [u_cmdb_ci...']), Type ('String'), Column label ('Firmware version'), Column name ('u_firmware_version'), and Max length ('40').

3. [Submit] をクリックします。

リストレイアウトの構成

1. [HHD] メニューに移動し、[Holographic Handheld HHDs] モジュールを選択します。



メモ: Holographic Handheld HHD テーブルの作成時に、[Create module] チェックボックスを選択していました。また、[Add Module to menu] フィールドで [HHD] を選択していました。

「レコードが表示されていない」リストが、デフォルトの列 (フィールド) とともに表示されます。

Holographic Handheld HHDs							
Name	Search						
All							
	Name	Manufacturer	Location	Description	Class	Updated	Maintenance schedule
	Search	Search	Search	Search	Search	Search	Search

2. 次の列がこの順番で並ぶように、リストレイアウトでレイアウトを設定します。

- Name
- Serial Number
- Asset tag
- Firmware version
- Support group
- Installed
- Install Status
- Assigned to
- Comments

3. [Save] をクリックして保存します。

4. 新しいリストレイアウトが正しい列、正しい順序で構成されていることを確認します。

Name	Serial number	Asset tag	Firmware version	Support group	Installed	Install Status	Assigned to	Comments
Search	Search	Search	Search	Search	Search	Search	Search	Search

セクション 2 : Infinity HHD フォームの設定

次に、フォームビューを設定します。

1. [New] を選択します。
2. [Additional actions] メニューを開いて [Configure] > [Form Layout] を選択します。
3. 次の列がこの順番で並ぶように、フォームレイアウトを設定します。
 - Name
 - Serial Number
 - Asset tag

- Firmware version
- Support group
- Installed
- Install Status
- Assigned to
- Comments

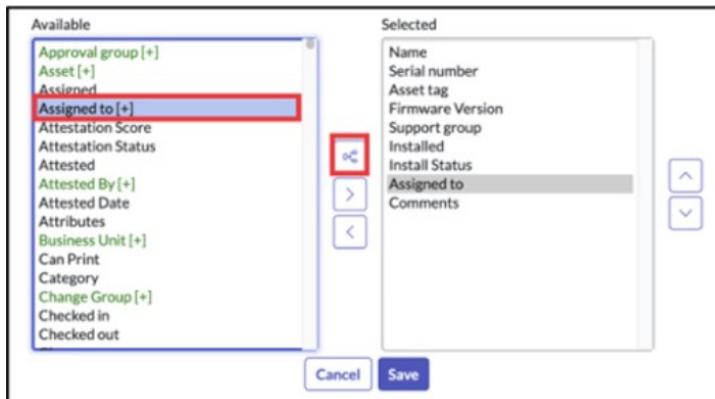
4. [Save] をクリックして保存します。

5. 新しいフォームレイアウトが正しいフィールド、正しい順序で構成されていることを確認します。

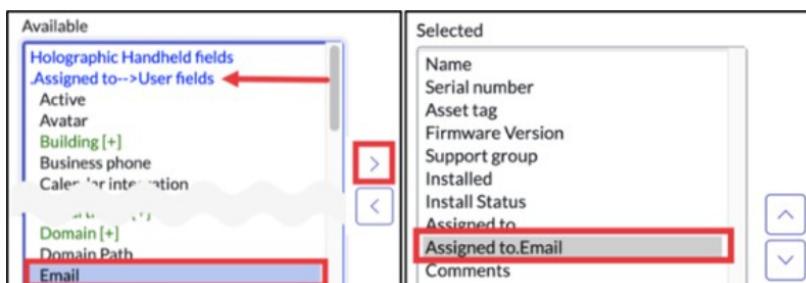
6. フォームヘッダーを右クリックし、[Configure] > [Form Layout] の順に選択します。

7. ドット連結を使用して **Assigned_to.Email** を [Selected] リストに追加します。

- [Available] リストで、[Assigned to] を見つけて選択します。
- [Expand selected reference field] アイコンをクリックします。



- [Assigned to-->User fields] を見つけ、[Email] を [Selected] リストの [Assigned to] の次に追加します。



これで、[Selected] リストに [Assigned to.Email] が表示されます。

メモ: [Assigned to.Email] は、担当者のユーザー レコードのメール アドレスを表示するものです。ユーザー レコードにメール アドレスが含まれていれば、[Assigned to] フィールドに名前が入力されたときに、この値も自動的に取り込まれます。

8. [Save] をクリックして保存します。
9. [Holographic Handheld New record] フォームに [Email] フィールドが表示されることを確認します。
10. [Assigned to] フィールドに「Fred Luddy」と入力します。メール アドレスが自動的に入力されていることを確認します。

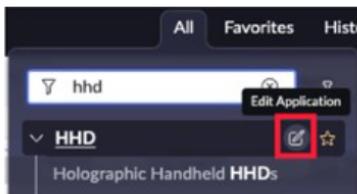
メモ: このレコードを保存する必要はありません。

チャレンジ: [Assigned to.Email] フィールドを [Holographic Handheld HHDs] リストに追加してみましょう。

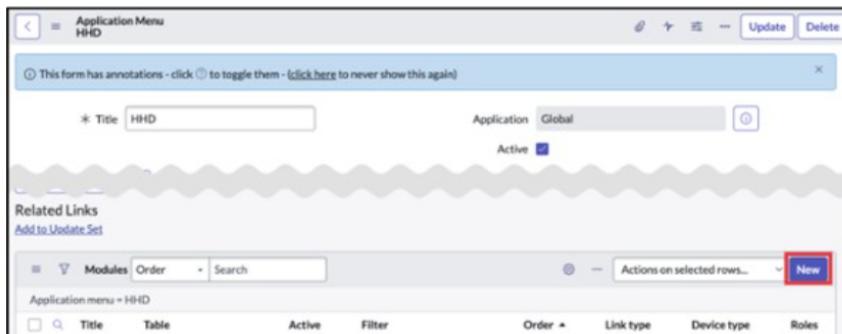
セクション 3: アプリケーションメニューの更新

次に、(先ほど設計したフォームを使用して) ユーザーが新しい HHD デバイス レコードを作成できるように、新しいモジュールを構成する必要があります。

1. [All] メニューで [HHD] を見つけて [Edit Application] アイコンをクリックします。



2. [MODULES] ヒントコノレ [NEW] をノンソノレム。



1. 次のようにフォームに入力します。

- Title : **Create New**
- Application menu : **HHD**
- Order : **100**

2. [*Link Type] タブを選択して、次のようにフィールドに入力します。

- Link type : **New Record**
- Table : **Holographic Handheld HHD [u_cmdb_ci_hardware_hhd]**

3. フィールド値を確認します。

A screenshot of a 'Module New record' form. The 'Link Type' tab is selected. The 'Title' field contains 'Create New', 'Application menu' is set to 'HHD', and 'Order' is set to '100'. In the 'Link Type' section, 'Link type' is set to 'New Record' and 'Table' is set to 'Holographic Handheld HHD [u_cmdb_ci_hardware_hhd]'. Both the 'Title' and 'Link Type' sections are highlighted with a red box.

4. [Submit] をクリックします。

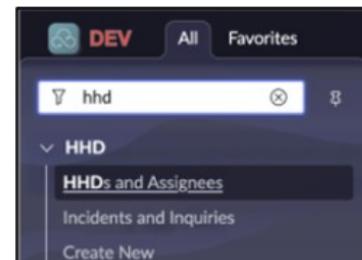
次にプロダクトオーナーは **Holographic Handheld HHDs** モジュールのタイトルを「**HHDs and Assignees**」にしたいと考えています。

5. [Modules] セクションまで下にスクロールして **[Holographic Handhelds HHDs]** を選択します。

6. [Title] に「**HHDs and Assignees**」と入力します。

7. [Update] をクリックします。

8. [All] メニューが次のように表示されることを確認します。



お疲れさまでした。このアクティビティはこれで完了です。

Cloud Dimensions の最初の拡張テーブルが完成し、
このテーブルで Infinity HHD デバイスを管理できるようになりました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All Rights Reserved.

servicenow

ユーザーストーリー
▼